

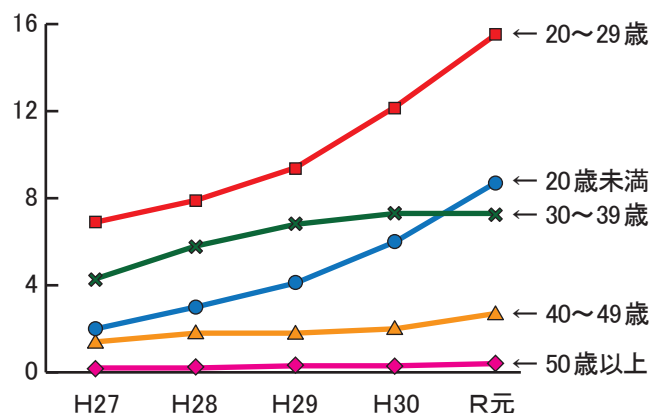
大麻の乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

若者に広がる大麻

近年、大麻事犯の検挙人員が過去最高を更新し続け、増加の一途をたどっており、特に、20歳未満、20歳代の若年層による乱用が深刻な問題となっています。

警察庁の調べによると、若年層は友人・知人等から誘われるなど、周囲の環境に流されて大麻に手を出す傾向がうかがわれるほか、大麻に対する危険性の認識が低下していることが判明しています。

【人口10万人当たり的大麻事犯検挙人員の推移】
(警察庁「令和元年における組織犯罪の情勢」から)



大麻に関する誤った認識



合法化している国があるんだから危険性はないんじゃないの？

危険性があります

海外の一部の国で大麻が合法化されている理由は、安全だからではなく、既に規制できないほど広まってしまったからです。

大麻は、幻覚作用、記憶障害、学習能力の低下、知覚の変化などを引き起こす危険な薬物です。



合法化している国に行って使用するなら問題ないんだよね？

罪に問われることがあります

日本の大麻取締法は国外において大麻をみだりに所持したり、譲り受けたりした場合などに罰する規定があり、罪に問われる場合があります。

合法化されている国であっても大麻には決して手を出してはいけません。



大麻って依存性がないんだよね？

依存性があります

何かを努力して達成すると人の脳の中では神経伝達物質であるドーパミンが分泌され、快感を得ることができます。

しかし、大麻を使用するとこの過程を経ずにドーパミンが放出され、簡単に快感を得られてしまいます。これが忘れられず繰り返し使ってしまうようになります。

海外の研究では、大麻はアルコールに比べて依存症化率が高いという結果が出ています。

大麻は「ゲートウェイドラッグ」とも呼ばれ、コカインや覚醒剤など、さらに強い副作用や依存性のある薬物の使用の入口となる薬物でもあります。

大麻に関する誤った情報に流されず、正しい知識を持ちましょう！！

